

ウッドデッキの完成



<h1>曙 光</h1>
第 68 号
平成30年1月22日発行
発行 広島県立障害者 リハビリテーションセンター あけぼの 〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3 TEL (082) 425-1455
印刷所 ワークホーム 聖恵 竹原市忠海中町三丁目 16番1号 TEL (0846) 26-1002

今年度は、生活介護室前の中庭にウッドデッキを新たに設置しました。みんなの「あったらいいな」が実現しました。屋外に出ることが少ない生活介護のご利用者はもちろん、すべてのご利用者に気楽に利用していただけるスペースです。最近では、休日に面会に来られたご家族と一緒に過ごす姿もお見かけします。

また、ウッドデッキ設置に合わせてパラソルとイスを後援会で購入していただきました。何もなかった中庭がカフェのようなおしゃれな空間になり、生活介護室からの眺めも変わりました。今後は梅と桜の木を植える予定もあり、憩いの場としての楽しみが増えます。

平成27年度のシアタールーム、食堂前のテラス、シャワールームの新設から始まった改修工事は、平成28年度に南館浴室の個浴化、北館・西館のトイレの改修を完了しました。平成30年度には、西館浴室へのチェアースタブ設置や本館男子・南館男子トイレ、東館居室の改修も予定しています。

自立訓練・就労移行支援を利用している方には、地域での生活を想定した訓練ができるような環境の整備を、生活介護を利用していらっしゃる方には生活のしやすさや楽しみの拡充になるよう、計画的に取り組んでいきたいと考えています。

「あけぼの通信」

あけぼの生活訓練では、月1回「あけぼの通信」を発行し日中活動の各部屋に掲示をしています。これは、訓練プログラムの一つとしてご利用者の割鞘様が編集長として企画立案、編集、印刷配布を行っているものです。平成28年6月に第1号を発行し、平成29年12月で第17号まで発行されています。第11号から編集後記の掲載を始め、第14号では広島カープリーグ優勝の特集号を発行しました。他の訓練課題もこなす中、毎月の通信発行はなかなか大変なことです。内容の充実を図りながら取り組んでいただいています。

訓練として取り組むにあたっては、実際の仕事を想定し以下のようなポイントを意識していただくように支援しています。

- * 他の作業課題とのスケジュール調整、優先順位と発行日を考慮した作業遂行。
- * 適切なタイミング、方法での職員への報告相談。
- * 適切な文章表現。
- * パソコン入力時の誤字脱字のミス確認。

割鞘様はパソコン入力後の文章チェックを3回する等、対処方法を考えながら作業されていますが、「直前にやった作業でも忘れることがある。」「指示内容を常に把握しておくために、同じことを何度も職員に確認してしまう。」とまだまだ難しさも感じているようです。一方で、記事掲載のために他のご利用者の方へのインタビューをした際には、割鞘様の話の聞き方、話題の引き出し方の上手さに職員が感心させられることがあります。

「あけぼの通信」の作業を通じて、課題を整理し対応方法を職員と一緒に考えていく中で、今後の働き方の検討、生活に活かしてもらえたらと考えています。





アニマルセラピー

10月19日に広島アニマルケア専門学校の学生さん7名と4匹のわんちゃん達によるハンドマッサージ・アニマルセラピーが実施されました。

多くのご利用者がこの日を楽しみにされており、多くの方に参加していただきました。

学生さんたちによるわんちゃんとの芸の発表があり、ご利用者がフラフープを持ちそれをトイブードルが潜り抜けるといふものや、学生さんがシェパードに「バーン！」と言い銃で撃つ真似をすると死んだふりをするなどの内容でした。ご利用者もとても微笑ましい様子で見えていました。

芸を見た後には、ご利用者とわんちゃん達のふれあいが行われ、ご利用者の膝の上やご利用者が抱っこをしたり、なでたり、実際に餌（おやつ）をわんちゃん達にあげてふれあいを楽しんでもいました。



ご利用者の声

犬がかわいかった。とても癒された。また来てほしい。

（機能訓練利用者 森川良治さん）

僕は、実は犬はあまり好きじゃなかったけど、小さいワンちゃんはとてもかわいかったです。また機会があったら来てほしいです。

（生活介護利用者 横田優希さん）

犬たちがとても大切にされていると感じました。学生さんたちが、犬にハンドマッサージをしてあげていると聞き、驚きました。昔から犬と人間は一緒に暮らしていたんだなあ、犬は人間と一番親しい動物だなあと改めて思いました。私は、『きなこちゃん』がお気に入りです。

（生活訓練利用者 来須栄三さん）



行事の紹介

あけぼのでは、ボランティアのみなさまにもご協力をいただきながら、いろいろな行事を行っています。その一部をご紹介します。

☆ほのぼの交流会 (6月24日, 11月15日)

オーエヌ保育園の園児さんたちや先生方が来られ、歌や踊りを披露してくださいました。一緒に踊ったりして触れ合える場面もあり、楽しく交流できました。



☆夏祭り (7月21日)

生活訓練利用者を中心に、飲み物販売の出店を行いました。



☆あけぼの祭 (9月2日)

あけぼの祭での恒例になってきた紙飛行機大会！自作の紙飛行機での華麗な戦いが繰り広げられました。



☆そば打ち体験 (9月19日)

そば職人さんの技を見学しました。希望者はそばを切る体験もできました。



☆スポレク (10月28日)

みんなで卓球台を囲んで卓球バレーに挑戦しました。



☆鍋会 (11月30日)

この冬1回目の鍋会。あつあつの鍋をみんなで囲み和やかなひとときでした。



お楽しみ昼食会

今年度は、夏季にお好み焼き店、秋季にランチバイキング、回転すし店での食事会。3月に実施予定の回転すし店を合わせ、約30名の希望により、5回にわたって公用車を使用し職員が同行する行事となっております。

大好きなメニューを目にして味わい喜ぶ人、食後のデザートをゆつたりと味わう人、道中や食事中に家族や趣味の話題をふりまく人、参加者それぞれの楽しみを共有できる有意義な時間となっております。

また、外食に伴う食事代の準備や身だしなみ、飲食店でのマナーやメニュー選び、支払いなど、社会参加や社会性を育む有意義な機会となっております。

回転すしでの印象的な場面は「やや食指が止まっていた利用者にはリクエストのネタを尋ねたところ、「ウニ（軍艦）が（レーンから）来ないんです。」と答えられました。注文し届いたウニ軍艦を愛おしそうに頬張り、日本酒をキュッと入れる幸せそうなご様子に触れ、とても和まされました。



～日帰り旅行（とびしま街道ドライブ）～

10月18日に利用者6名・職員5名で、とびしま街道ドライブへ出かけました。

数日前より雨が続き、参加利用者の中からは天気を心配する声がありました。当日は秋晴れではなかったものの、雨ではなかったため、皆さん笑顔で出発することができました。

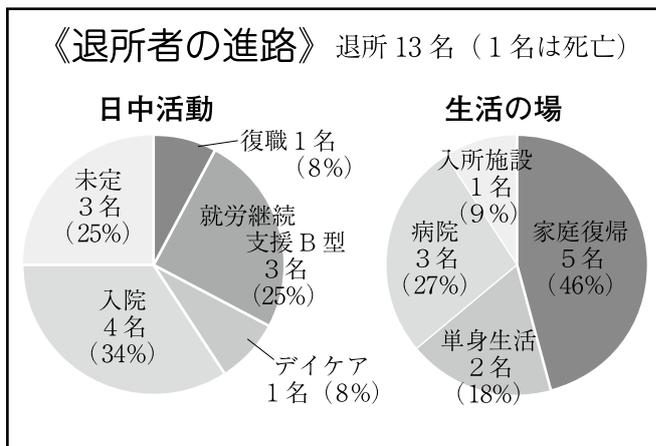
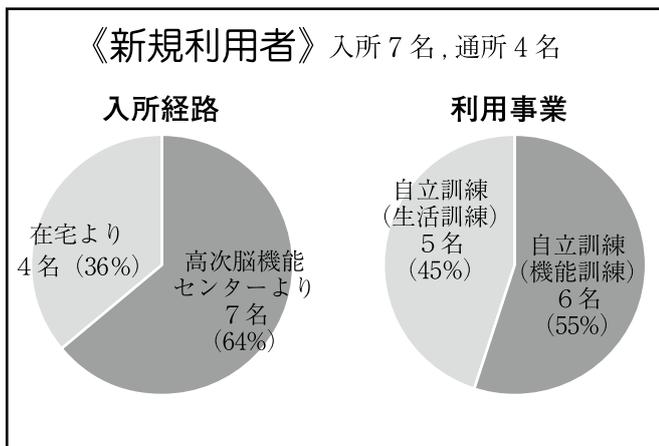
昼食は、お刺身や揚げたての天ぷら、豪華な海鮮ちらし寿司など、みなさん思い思いの料理を注文し、海の幸を堪能し「美味しかった～！」と、とても喜んでいました。

昼食後は橋の上から見える海の景色や対岸の島、潮の香りを楽しみながらのドライブで、日頃とは違う笑顔が見られた一日になりました。



◆利用者の動き◆

(平成29年6月1日～平成29年12月31日)



フェンスを
設置しました

昨年の7月、津久井やまゆり園で大変悲しい事件が起こり、あけぼのでも利用者の安全対策の観点からフェンスの設置を検討しております。この度、生活棟にフェンスを三か所設置しました。フェンスの設置は皆様に閉塞感を与えることになるかもしれませんが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。引き続き、利用者の皆様に安心して利用していただけるような施設づくりに努めていきたく思います。



題字紹介



今回の題字は、昨年7月よりあけぼの機能訓練を利用いただいていた吉田政広さんに書いていただきました。吉田さんは、今後の生活に向けて、身体機能、生活能力、作業能力等の向上を目指し、日々の訓練や活動に意欲的に取り組んでおられます。また、趣味のデザイン画を将来に活かしたいという夢をお持ちだそうです。吉田さんが書いた文字からは、吉田さんの真面目な人柄と、真つ直ぐな思いが伝わってくるようです。

編集後記

「曙光68号」を手に取ってくださった皆様、関心をお寄せくださりまして、ありがとうございます。私も職員一同、ご利用者のお一人おひとり、その人らしく、明るく健やかに、日々充実してお過ごしになりますよう、この一年も尽力してまいります。どうぞ本年も温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。